

受注者 配布可

三重県 県土整備部 が発注する工事で取り組む

『遠隔臨場』の概要について

はじめに（本資料について）

みなさん、「**遠隔臨場**」という取り組みをご存じでしょうか？

三重県では、**現場業務の効率化を図ることを目的**に、現場と建設事務所を繋ぐ、**「遠隔臨場」**の取り組みを進めています。

しかし、「遠隔臨場ってよくわからない」「何から始めたらいい？」といった声もよくお聞きします。

そこで、遠隔臨場のことわかりやすくお伝えすべく、本資料を作成しました。本資料をご覧ください、遠隔臨場に前向きに取り組んでいただけると幸いです！

（⇒後半、クイックスタートと題し、進め方を簡単にまとめています！ ☆ぜひ、ご活用を☆）



段階確認や
施工状況立会

…遠隔臨場の試行要領に
定めている内容

★待機時間の短縮
★移動時間の短縮



電話より遠隔臨場で
より分かりやすく

…現場の変状など

★電話だけではわかり
づらい現場の様子が
すぐにわかる

遠隔臨場とは・・・

動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）によって取得した映像及び音声を利用し、遠隔地から Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」、「立会」と「検査」を行うこと。

対象工事は・・・

三重県県土整備部が発注する全ての建設工事に適用。

※通信環境が整わない現場や工種によって遠隔臨場により確認等が不十分、非効率となることが明確な工事を除く。

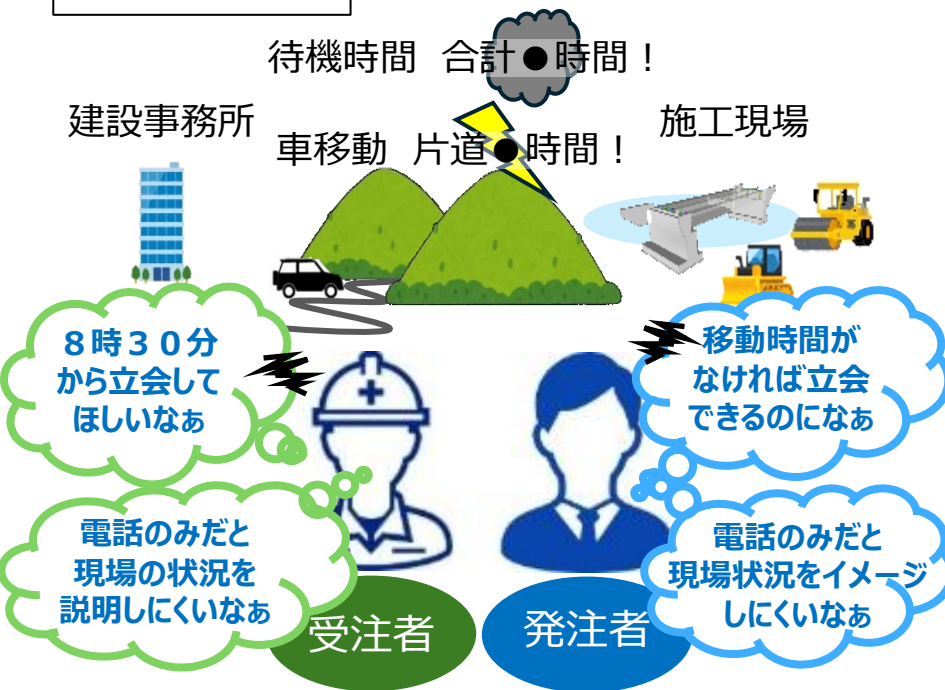
適用の範囲は・・・

監督員または検査員等が十分な情報を得ることができる遠隔臨場の機器を用いて、『三重県公共工事共通仕様書』に定める「段階確認」、「材料確認」、「立会」と「検査」を実施する場合に適用。

※動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、現場不一致・事故等の報告時の活用妨げるものではないため、現場をすぐに確認してほしい時等に活用！

現場臨場からの変革

現場臨場



発注者 遠い現場だと移動で2時間以上

受注者 現場で確認の準備をして待機

電話のみの状況報告

うまく伝わらない 判断ミスも

遠隔臨場



発注者 移動時間の短縮 !

受注者 待機時間の短縮 !
(⇒受注者のタイミングで立会可能)

施工現場と事務所でWeb会議

意思疎通が円滑に !

契約締結

受発注者協議



施工計画書へ記載



機器等の準備



遠隔臨場による
段階確認等の実施



遠隔臨場の
実施記録を提出

- ①遠隔臨場を実施する現場の**通信状況の確認**を行う。
- ②発注者と遠隔臨場の実施について**協議**を行う。

三重県HPに協議の参考様式(Excel)あり

https://www.pref.mie.lg.jp/JIGYOS/HP/89956000001_00011.htm



受注者

遠隔臨場を実施したいので協議します。

了解しました。
通信環境は大丈夫ですか？

現場の通信環境は確認しました。
通信回線速度、音声・映像ともに良好です。

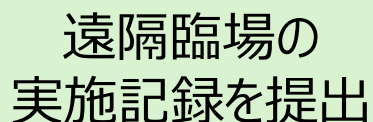
ぜひ、実施しましょう！



発注者

『建設現場における遠隔臨場に関する試行要領』

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001205016.pdf>



様式 - 9		工事打合せ簿		例	参考
発議者	☐ 発注者 ☒ 受注者	発議年月日	令和〇年〇月〇日		
発議事項	☐ 指示 ☒ 協議 ☐ 通知 ☐ 承諾 ☐ 報告 ☐ 提出				
	☐ その他 ()				
工事名	〇〇〇工事				
(内容) 情報共有システム及び遠隔臨場の実施について、下記のとおり協議します。					
1. 情報共有システム ☐ 情報共有システムを実施します。 - 情報共有システム名称() ☐ 情報共有システムを使用 - 情報共有システムを利用しない理由は次のとおり。 ※実施しない理由を記入					
2. 遠隔臨場 ☒ 以下の項目で遠隔臨場を実施します。 ☒ 段階確認 ☒ 材料確認 ☒ 立会 ☒ 検査 動画撮影用カメラ(予定) スマートフォン WEB会議システム(予定) Zoom ※使用するカメラやWEB会議システムの予定を記載					

☐ 遠隔臨場を実施しません。

『工事打合せ簿（ASP＋遠隔臨場）【参考様式】』より抜粋
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001205018.xlsx>

契約締結

受発注者協議



施工計画書へ記載



機器等の準備



遠隔臨場による
段階確認等の実施



遠隔臨場の
実施記録を提出

次の項目を**施工計画書**へ記載する。

- ① 遠隔臨場を実施する項目（段階確認、材料確認、立会）
- ② 動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の機器と仕様
- ③ WEB会議システム等のシステム名称と仕様
- ④ 遠隔臨場による段階確認等の実施方法
- ⑤ 遠隔臨場を中断した場合の対応

施工計画書への記載例
はありますか？

試行要領に記載例があるので
参考にしてください！



受注者



発注者

『建設現場における遠隔臨場に関する試行要領』

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001205016.pdf>

契約締結

受発注者協議

施工計画書へ記載

機器等の準備

遠隔臨場による
段階確認等の実施

遠隔臨場の
実施記録を提出

4. 施工計画書の記載例

(8) 施工管理計画 5) 段階確認等

- (8) 施工管理計画
5) 段階確認等

設計図書で定められた段階確認項目についての計画を記

種 別	細 別	確認項目		
道路土工 (掘削工)		土質、変化位置	土質の変化した時	
護岸工	法覆工（覆土施工がある場合）	覆土前	○月○日	遠隔臨場または 現場臨場
護岸工	基礎工	設置完了時	○月○日	遠隔臨場または 現場臨場

動画撮影用カメラの機器と仕様

遠隔臨場で使用する動画撮影用カメラ、Web 会議システムに係る機器と仕様は以下のとおり。

動画撮影用カメラ	項 目	仕 様	備 考
スマートフォン (i-phone)	映像	画素数：640×480以上 フレームレート：15fps以上	カラー
	音声	マイク：モノラル（1チャンネル）以上 スピーカ：モノラル（1チャンネル）以上	

試行要領P17
施工計画書の記載例

遠隔臨場する項目が
わかるように記載

例：遠隔臨場または
現場臨場

『建設現場における遠隔臨場に関する試行要領』より抜粋

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001205016.pdf>

契約締結

受発注者協議



施工計画書へ記載



機器等の準備



遠隔臨場による
段階確認等の実施



遠隔臨場の
実施記録を提出

試行要領P17
施工計画書の記載例

Web会議システムのシステム名称と仕様

WEB会議システム	項目	仕様	備考
Zoom ミーティング	通信回線 速度	下り最大 50Mbps、上り最大 5Mbps 以上	
	映像・音声	転送レート (VBR) : 平均 1 Mbps以上	

実施方法

遠隔臨場の実施方法は以下のとおり

- ・事前に監督員と動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）やWeb会議システム等の仕様、通信状況等について確認を行う。
- ・監督員が現場における確認箇所の位置関係を把握できるようにするために、遠隔臨場の実施前現場周辺の状況を伝える。
- ・「工事名」、「工種」、「確認内容」、「設計値」、「測定値」や「使用材料」等の必要な欄について適宜黒板等を用いて表示する。記録にあたり、必要な情報を冒頭で読み上げ、監督員による実施項目の確認を得る。終了時には、確認箇所の内容を読み上げ、監督員による実施結果の確認を得る。
- ・遠隔臨場が実施された結果として、通信履歴の画面キャプチャ写真により実施状況を記録し、実施記録を監督員へ提出する。

中断した場合の対応

遠隔臨場を中断した場合の対応は以下のとおり

- ・机上確認や別日に実施する等について、監督員と協議を行う。

『建設現場における遠隔臨場に関する試行要領』より抜粋

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001205016.pdf>

契約締結

受発注者協議



施工計画書へ記載



機器等の準備



遠隔臨場による
段階確認等の実施



遠隔臨場の
実施記録を提出

- ①施工計画書に基づき**動画撮影用のカメラ**（スマートフォン等）及び**WEB会議システム**を準備。
- ②監督員と**日程調整**を行う。
- ③立会時に必要となる**資料は、事前に監督員へ送付**。



受注者



発注者

○月△日の□時から
護岸工 基礎工の設置完了時の
段階確認を遠隔臨場をお願いします。

了解しました。
当日の確認資料とWeb会議システムのパス
コードを送付しておいてください。

了解しました。
ASP等で資料などを送付します。

『建設現場における遠隔臨場に関する試行要領』

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001205016.pdf>

契約締結

受発注者協議



施工計画書へ記載



機器等の準備



**遠隔臨場による
段階確認等の実施**



遠隔臨場の
実施記録を提出

- ①Web会議システムを開始し、遠隔臨場の実施
- ②適宜必要な情報を黒板等を用いて示したり、読み上げをして**監督員の確認をとりながら実施**する。

遠隔臨場を実施する
場合のイメージ図

日時 ○月○日（水） 9：00

件名 掘削工の遠隔臨場による段階確認の実施

I D ○○○○○○○○

パス ○△□×

備考

「開始」を押すと
通信（WEB会議）が
始まります。

開始

『建設現場における遠隔臨場に関する試行要領』

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001205016.pdf>

契約締結

受発注者協議



施工計画書へ記載



機器等の準備



遠隔臨場による
段階確認等の実施



**遠隔臨場の
実施記録を提出**

遠隔臨場を実施した記録

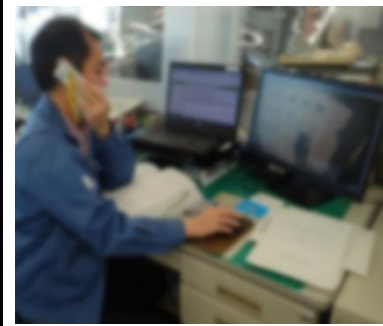
(通信履歴の画面キャプチャ、**通信中の監督員の映像を含む画面キャプチャ**、実施状況の写真等のいずれかを遠隔臨場の実施後、監督員へ提出します。)

遠隔臨場の実施記録の例



三重県〇〇建設事務所

通話履歴
20〇△年〇月×日 〇時▽分



通信履歴の画面キャプチャ
(イメージ)

通信中の監督員の映像を含む
画面キャプチャ (イメージ)

遠隔臨場の実施状況の写真
(イメージ)

三重県 遠隔臨場HP

三重県HP> トップページ> まちづくり> 公共事業> 建設DX (生産性向上) >
遠隔臨場> 建設現場における遠隔臨場に関する試行要領等の改訂について (令和4年7月)

https://www.pref.mie.lg.jp/JIGYOS/HP/89956000001_00011.htm